

運 営 の 特 色

設立の主旨は奈良を中心とする諸々の文化財の調査研究（南都七大寺や平城宮跡の研究等）にある。組織的には、無形文化財、天然記念物、民俗資料を除く有形文化財の調査研究を行なうため、3研究室ならびに1部7調査室がある。

とくに昭和38年度から発足した、平城宮跡発掘調査部による特別史跡平城宮跡の発掘調査は、当研究所の研究事業の中心をなしており、昭和44年度よりは飛鳥藤原宮跡の発掘調査にも従事している。

その他、建造物の修理や指定のための調査、埋蔵文化財の発掘調査、美術工芸関係あるいは名勝（庭園）、史跡の指定のための調査を行ない、文化庁の文化財保護部各課と密接な連繫を保ち、文化財保護行政に役立つ研究を行っており、さらに「平城宮資料館」や「平城宮跡覆屋」を一般に公開して文化財の知識普及に役立っている。

また、研究調査方法においては、写真測量の技術や冷凍真空乾燥機による遺物保存法、ソフテックス光線による絵画撮影などを導入するなど、科学技術的分野を開拓しつつある。